

議会報告会報告書

平成27年7月23日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

C班

代表 松尾 数則

平成27年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成27年 7月21日 (火) 19:00 ~ 20:25

2 開催場所

高千帆福祉会館

3 参加人数 (市民)

14 人

4 担当班議員名

(松尾数則) (福田勝政) (矢田松夫) (吉永美子)
(伊藤 實) (小野 泰) (中島好人)

5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 6月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (福田勝政) [司会] (伊藤 實)

② 民生福祉常任委員会 (矢田松夫) [記録] (小野 泰)

③ 産業建設常任委員会 (松尾数則) [受付] (中島好人)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (吉永美子)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 山陽オートの累積赤字が平成25年度から26年度にかけて約2億円増えた理由は何か。

[回答]

委託業者が日本トータから日本写真判定に変更になったことにより、委託料が約1億7,000万円増、最低保証額が約6,000万円減となったこと等によるものである。

- ② 山陽オートの負債は全体でどうなっているのか。

[回答]

差し引きでいくと26年度は交付金猶予、リース料、累積赤字の合計が約1,000万円減少したがまだ20億円の負債がある。

- ③ 山陽オートの将来閉鎖という最悪の状態を考えているのか。

[回答]

閉鎖の議論も合併当初からあったが、現在負債合計が20億円あるなか、閉鎖すると大変な事態になる。年々赤字は減少しており、29年に交付金猶予も完済となる。施設・選手会・駐車場の問題もあり、一定の時期が来ればそういった議論もでてくる。

- ④ 日本写真判定は2年契約であるので、27年度で終了する。したがって27年度以降の見通しはどうか。

[回答]

委員会では交付金猶予が29年完済となり、リース料が37年完済となることから先を見据えた議論をしている。

- ⑤ 議論をしていればそのデータを提示してほしい。

[回答]

要望として受け止める。

- ⑥ 火葬場は風向きによって、悪臭が流れてくる可能性があると思うが対応はどうか。

[回答]

山陽斎場は黒い煙が出ていたが、新斎場は臭気も煙も出ない施設になっているので、付近の方々に迷惑をかけることはない。

- ⑦ 火葬場は重油を使用し火力が強いので臭気も煙も出ないと思うがいかがか。

[回答]

大気汚染、臭気、騒音、振動については、県条例、市の環境保全条例を遵守して行う。いずれも環境基準値以下とし、低公害バーナーを使用することにより火葬によって周辺環境に影響を与えることはない。

- ⑧ 火葬場は平成31年度末に完成予定だが、建設についての意見を反映出来るのはいつまでか。

[回 答]

現在基本計画の段階であるので、実施計画が示されるまでをお願いしたい。

- ⑨ 委員会として意見を聞くということであるので、いつまで意見を出せば市に反映されるのか。

[回 答]

9月頃までに出していただきたい。

- ⑩ 今後のスケジュールを説明してほしい。

[回 答]

1. 今年1月から住民説明会を開いた。2. 市広報においてパブリックコメントを求めた結果、市民からの意見が3件あった。3. これから地権者との協議、新火葬場に絡む都市計画決定に向けての地元説明会、公聴会をしていくことになる。委員会としては、市民の方々との懇談について積極的に行っていく。

- ⑪ 一般会計予算決算委員会から3件の説明があったが、これは新規のもの、関心のあるものと思われる。金額は400万円余りで微々たるものである。補正額は9,380万円で残り約9,000万円はどういうものがあるのか。

[回 答]

下水道事業特別会計において、消費税の過少申告が判明した。時効は3年であり平成23年度から25年度までの消費税の修正申告額約4,300万円、延滞税126万円、26年度概算申告額2,700万円、27年度の間納付額1,350万円であり合計で約8,000万円である。

- ⑫ コミュニティスクールにコンダクターが設置されるが、私の地域では小学生や幼稚園児が道路でソリみたいで下に車のついているもので走り回っている。危険な遊びをしているので事故にならないように大きな声で叱っているが、情報が届いていないし、共有化もされていないのではないかと。

[回 答]

コンダクターにはその役割があり、その中で改善しなければならないことがあれば言うことも必要である。配置は8月からなのでこれからということになる。子供の安全のため、教育委員会に言うとおかないといけない。

- ⑬ 山口東京理科大学について大学が私立から市立になって地域が発展すれば良いが定員割れ等により赤字になり、運営がうまくいかなかった場合、だれが責任をとるのか、対応はどうするのか。

[回 答]

定員割れについて、今回1,400名余りの志願者に対し365名が合格した。公立化のメリットは交付税措置があること、授業料が約半額になること等である。老朽化した校舎、研究機材等については大学側が約8億円かけてすべて改善し市に引き渡すことになっているため市の負担は軽減される。大学が撤退するまに企業が来るのかということになる。人口減少における若者定住策として全庁的に

取り組みチーム山陽小野田として取り組むことになる。

- ⑭ 学園都市を創っていくことも考える必要があるのではないか。

[回 答]

そういうことも含め卒業後も山陽小野田に定住する、そのような施策にも取り組んでいきたい。

- ⑮ 民意反映のため、国の施策に対する意見等を取り上げ、地域から発信したらいか

[回 答]

意見として受け止める。